

被災地(東部保健福祉事務所管内)の現状

2015.1.8

宮城大学大学院看護学研究科
老年健康看護援助論Ⅱ
講義資料

東部保健福祉事務所 技術主幹 砂金理佳

宮城県の概要

◆人口・世帯数

(平成26年6月31日住民基本台帳より)

人口：2,312,655人

世帯数：946,550世帯

高齢化率：24.0% (26.3末)

◆市町村数

35市町村 (仙台市含む)

◆保健福祉部の出先機関

5保健福祉事務所

2地域事務所 (7保健所)

◆東部保健福祉事務所

(石巻保健所) 管内

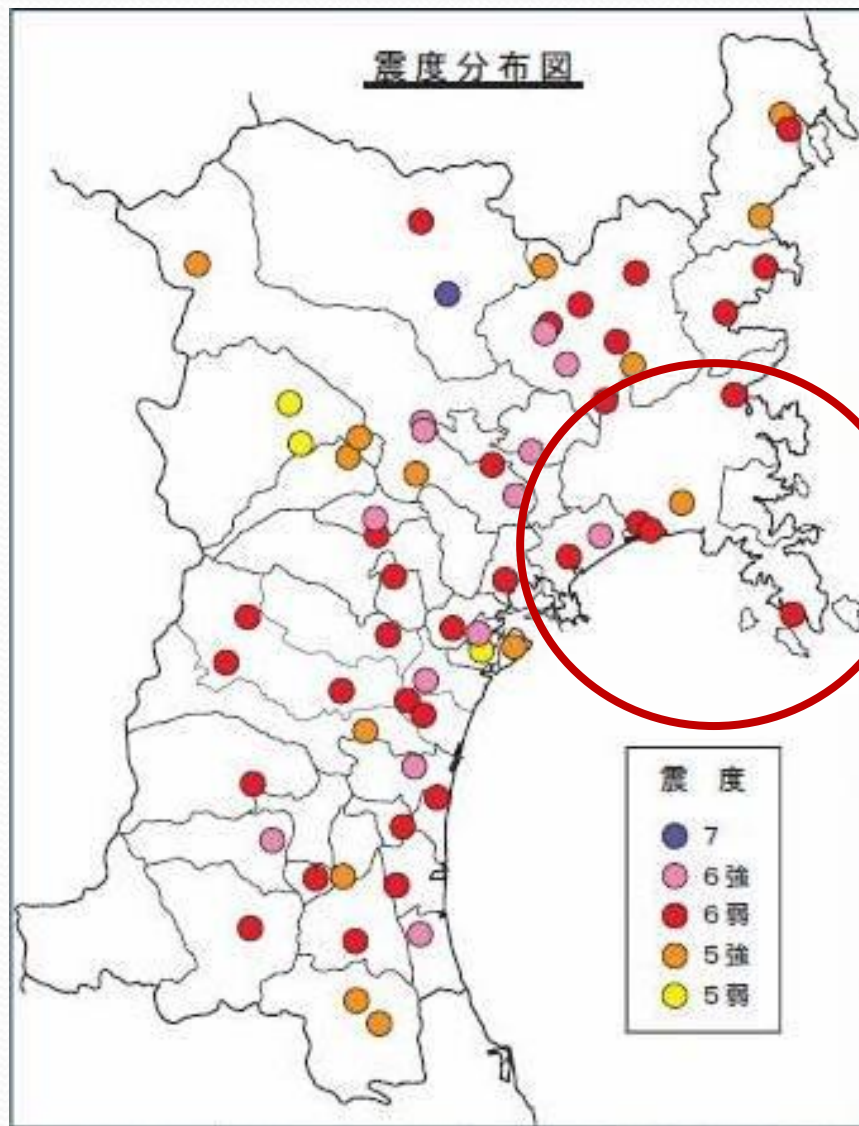
人口：196,773人

高齢化率 28.0% (26.3末)



東部保健福祉事務所
(石巻保健所) 圏域
石巻市
東松島市
女川町

東日本大震災の各地の最大震度



石巻圏域

東日本大震災による津波被害

石巻市



東日本大震災による津波被害

東松島市



東日本大震災による津波被害

女川町



死者・行方不明者(H26.11.30) 仮設住宅入居者数(H26.9.30)

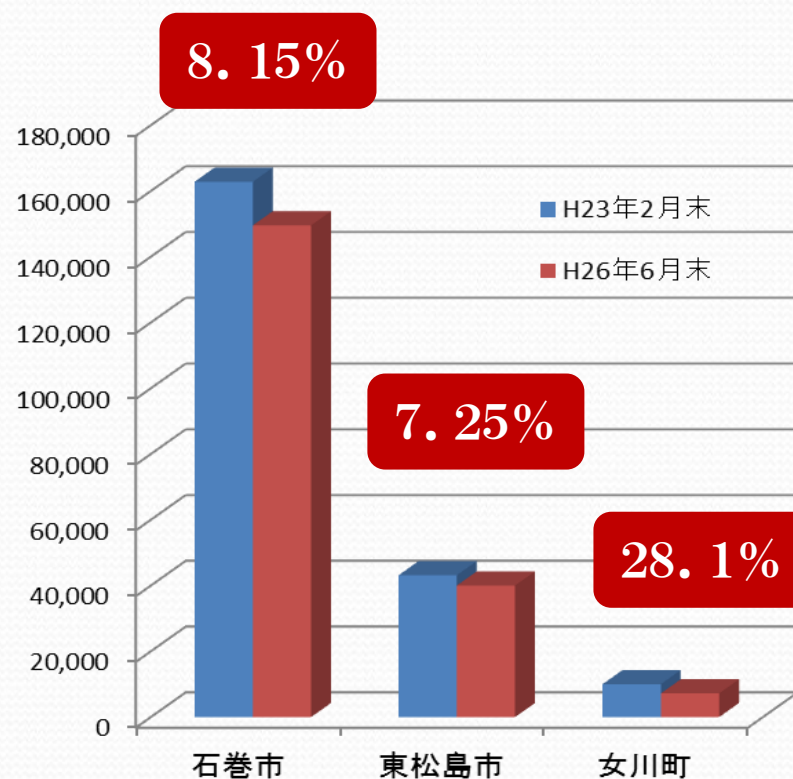
	石巻圏域	県全体
死者 (関連死含む)	5,279人	10,511人
行方不明者	715人	1,258人
仮設住宅入居者数 (民間賃貸含む)	28,154人	73,360人

東部保健福祉事務所管内人口の変化

減少率

	H23年2月末	H26年6月末
石巻市	162,822	149,556
東松島市	43,142	40,016
女川町	10,016	7,201
管内計	215,980	196,773

単位:人



東部保健福祉事務所の組織体制

(H26. 4)

職員：83名
医師、保健師、管理栄養士、リハ職、薬剤師、獣医師、他技術系、事務職、相談員等

保健福祉事務所長

保健医療監
(保健所長)

企画総務班

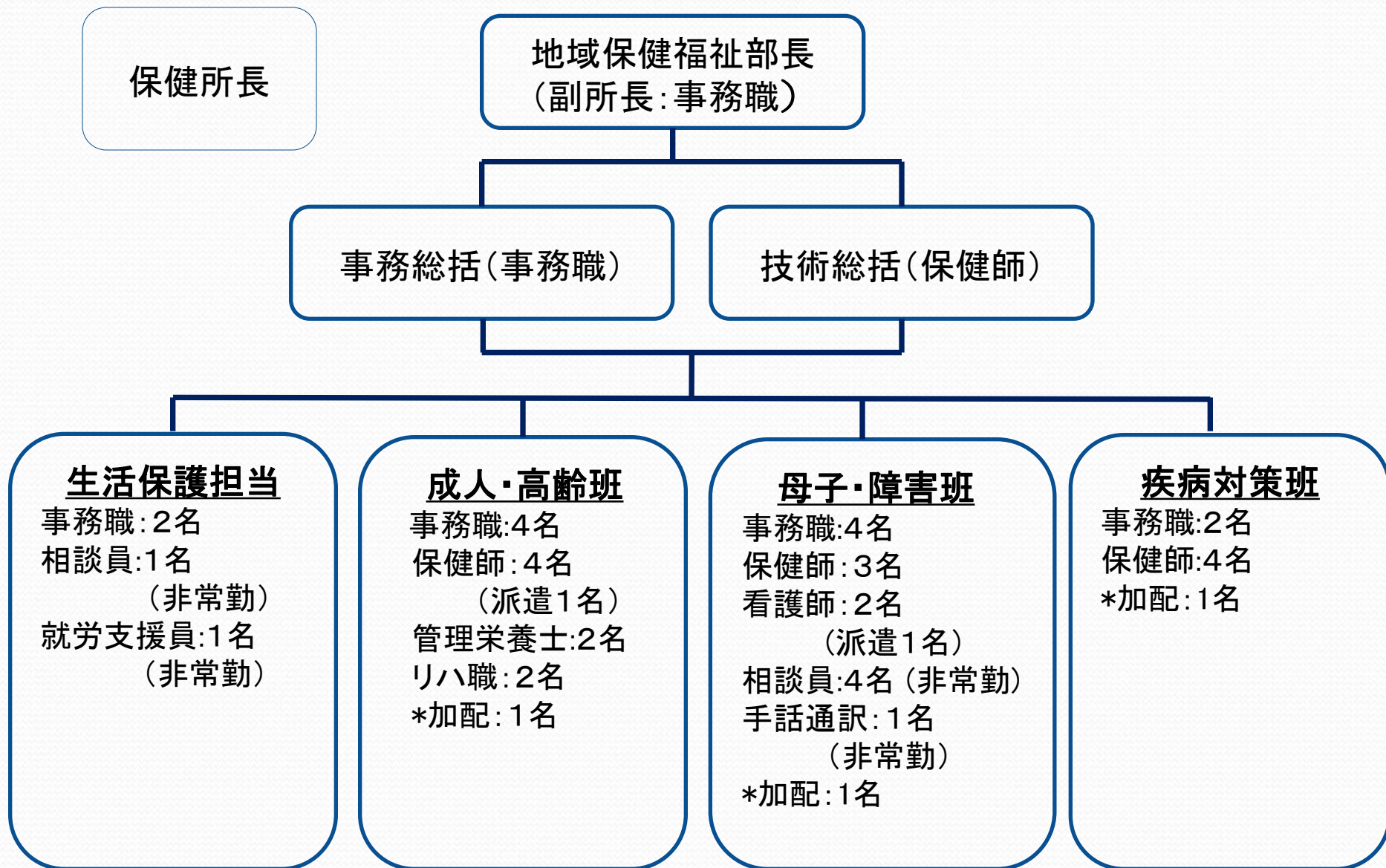
地域保健福祉部

成人・高齢班
母子・障害班
疾病対策班
生活保護担当

環境衛生部

食品衛生班
獣疫薬事班
環境対策班
廃棄物対策班

地域保健福祉部の組織体制(H26.4)



宮城県の被災者生活支援体制

(H23. 10～)

被災者生活支援実施本部会議

保健福祉部被災者生活支援調整会議

地域コミュニティ支援
WG

健康支援WG

心のケアWG

保健福祉事務所被災者生活支援チーム

被災者健康支援会議

※ 有識者が、専門的観点から助言

東部保健福祉事務所の 被災者生活支援体制

被災者生活支援チーム

被災者支援チームリーダー(副所長)

アドバイザー
(保健医療監兼保健所長)

サブリーダー(地域保健福祉部技術総括・事務総括)

担当保健師による支援

各市町に担当保健師2名配置
(市町への支援内容の企画・立案, 市町の被災者支援事業の企画支援, 情報収集, 会議等への参加等)

班体制による支援

①情報収集, ②被災者健康調査支援③サポートセンター支援事業④健康支援事業, ⑤復興住宅整備支援, ⑥心のケア, ⑦感染症対策, ⑧生活困窮者対策, 等

災害後の保健師等派遣状況

(H23.5.1～H23.6.30)

- ・東部及び気仙沼健保福祉事務所に、内陸部または本庁の保健師が兼務になり、配置された。(東部保健福祉事務所には3名の配置あり。)
- ・県外からの派遣保健師が配置された。

活動
の
結果・
成果

市町

- ・外部支援の専門職(保健所長・精神科医・保健師等)の派遣調整が助かった。
- ・窓口がより明確となり、情報の共有、必要時に相談できる。

保健福
祉事務
所

- ・住民や支援者からの情報がタイムリーに入るので、何に取り組みばよいか明確になり、対応しやすい。課題が見えてきた。

女川町の被災状況

(H26. 12. 13 宮城県保健師連絡協議会資料より抜粋)

● 津波被害

最大津波高さ **14.8m** (港湾航空技術研究所調査)

浸水区域 **320ha** (被災現況調査)

被害区域 **240ha** (宮城県発表)

女川町の被災状況

(H26. 12. 13 宮城県保健師連絡協議会資料より 一部改編)

● 人的被害

町人口	<u>10,014名</u>	(H23. 3. 11時点)
死者	<u>569名</u>	(H25. 12. 1時点)
死亡認定者	<u>255名</u>	
		(行方不明者のうち, 死亡届受理者)
行方不明者	<u>5名</u>	

死亡・行方不明者の合計
町人口の
8.3%

女川町の被災状況

(H26. 12. 13 宮城県保健師連絡協議会資料より 一部改編)

● 物的被害

住宅被害

住宅総数	<u>4,568棟</u>	
全壊	<u>2,924棟</u>	(64.0%)
大規模半壊・半壊	<u>349棟</u>	(7.6%)
一部損壊	<u>661棟</u>	(14.5%)
被害なし	<u>634棟</u>	(13.9%)

工場等被害

総数	<u>1,943棟</u>	
全壊	<u>1,394棟</u>	(71.7%)
大規模半壊・半壊	<u>90棟</u>	(4.6%)
一部損壊	<u>147棟</u>	(7.6%)
被害なし	<u>312棟</u>	(16.1%)

家屋被害は、
併せて
86.1%

工場等被害
は併せて
83.9%

女川町こころとからだとくらしの相談センター

地域のつながりの再構築も目指した包括的な相談支援チーム

〈ディレクターの役割〉

- ①各8ブロックの活動把握とコーディネート
- ②関係部署との調整
- ③人材育成(研修企画運営)
- ④全戸訪問等コーディネート
- ⑤支援情報システムの構築
- ⑥各地区支援員等課題検討会議運営
- ⑦出張診療相談企画
- ⑧心のケアスタッフ育成

ディレクター
(チーム内コーディネーター)



マネージャー(事務職員)

契約事務
支援情報システム管理
会議庶務



女川町地域医療センター
支援チーム



Dr, Ns, PT, OT

女川町復興支援センター

地区担当制により、ここから専門員・くらしの相談員を配置する



各担当地区

区長・保健推進員
民生児童委員
食生活改善推進委員
聴き上手ボランティア
健康づくりリーダー

との連携

〈ここから専門員・くらしの相談員の役割〉

- ①担当地区健康相談
(こころとからだとくらし)
- ②家庭訪問活動
- ③仮設集会所等でお茶っこ会
レクリエーション等の集団活動
- ④介護予防事業とのタイアップ
- ⑤年2回全戸訪問
- ⑥くらしと健康の情報提供

女川町健康づくり推進協議会
(女川町こころとからだとくらしのネットワーク会議)

女川町地域
医療センター

石巻市医師会
石巻保健所
女川町社協
県精神保健センター
社会福祉施設
宮城県サポートセンター
宮城県心のケアセンター
石巻からこころステーション

※1 町内を8エリアに分け、それぞれのエリアにここから専門員を置く

※2 「ここから専門員」活動については、人件費も含めて委託とする(ここから専門員は保健師、看護師、PSW)

H26年度の女川町への支援計画

(H26.5.15)

- 管内被災者生活担当課長会議の開催
- 女川町における被災者生活支援に係る会議等への参加
- 震災遺児支援(相談・支援, 保護者サロンの開催)
- 感染症予防対策(「感染症かわら版」の発行)
- 生活困窮者対策(相談員の派遣)
- 認知症対策(相談・支援, 事例検討会等への参加等)
- 地域リハビリテーション対策(リハビリテーション相談)

地区担当保健師の活動の実際

- サブセンター運動公園住宅エリア会議（月1回）
- 地域支え合い体制づくり事業者会議（月1回）
- 保健医療福祉調整会議（月1回）
- 保健活動に関する打ち合わせ・座談会，研修会への参加等（月1回）
- 聴き上手研修会及び打ち合わせ（年5回）
- 地域福祉計画策定に関する会議，ワークショップ（随時）
- 見なし仮設入居者等サロン（年3回程度）
- その他（地域防災計画のための調整，情報収集等）

復興は着実に進んでいます！

体育館(旧避難所)と災害公営住宅

